

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- 業況判断D.I.は、「良い」超幅が縮小。

—— 製造業、非製造業ともに「良い」超幅が縮小した。

—— 先行きについては、「良い」超幅が縮小する見通しである。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、輸送用機械、電気機械	需要増加 価格転嫁による収益改善
	悪化	金属製品、繊維、非鉄金属、木材・木製品、食料品	原材料価格の上昇・人手不足
非製造業	改善	運輸・郵便、宿泊・飲食サービス、不動産、小売	需要増加 価格転嫁による収益改善
	悪化	建設、卸売、対個人サービス、鉱業・採石業・砂利採取業	原材料価格の上昇・人手不足

(事業計画)

- 2025年度は、売上高、経常利益ともに前年を上回る見込みである。

—— 経常利益は、製造業、非製造業ともに、価格転嫁の進捗などから、増益計画となっている。

- 2026年度は、売上高が前年を上回る計画である。一方、経常利益は前年を下回る計画である。

—— 経常利益は、製造業、非製造業ともに、コスト上昇などから、減益計画となっている。

- 2025年度の設備投資は、前年を上回る見込みである。

—— 製造業は、能増投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は前年の大型投

資の剥落などから、前年を下回る計画である。

- 2026年度の設備投資は、前年を下回る計画である。

—— 製造業は、前年の大型投資の剥落などから、前年を下回る計画である。一方、非製造業は、能増投資などから、前年を上回る計画である。

以 上